

# 第6学年 道徳科学習指導案

第6学年2組 33名  
指導者 西原 孝

## 1 主題名 自由のよさに気付いて

A- (1) 善悪の判断 自律 自由と責任	自由を大切にし、自律的に判断し、責任のある行動をすること。
--------------------------	-------------------------------

## 2 主題設定の理由

### (1) ねらいや指導内容について

自由とは、他から束縛されずに自分の心のままに行動できる状態のことである。本来、自由がもつよさは、自分の思うままにふるまえることにあるが、得てして、自分勝手に陥りがちである。また、人との関わりにおいては、個人の自由が衝突するため、各人の自由を実現することは難しい。集団や社会との関わりにおいては尚更である。真に自由を実現するためには、他を思いやる心や節度のある行動などの多様な視点から自由を捉え、自律的に判断したり責任のある行動を選択したりすることが求められる。その結果として得られる達成感や他者との絆などの自由の実現に伴うよさに気付かせ、自律的に判断して、責任のある行動をとろうとする実践意欲を育てたいと考え、本主題を設定した。

### (2) 児童の実態

修学旅行に向けて、班別自由行動の計画を立てる活動を行ったところ、各々がやりたいことを主張していた。委ねられた時間を自由に使いたいという思いが強かったが、話し合いが進むにつれて、みんなのやりたいことを折り合わせていこうとする姿が見られた。自由を実現することの困難さを感じつつも、修学旅行を終えた現在、「まあ、楽しかったからいいか」と思い出を振り返る声が聞かれる。

上述した児童の姿からは、自由を任せられることの喜びや自由の実現に伴うよさに十分気付いていないと捉えられる。そこで、児童がよりよく生きていくことができるように、これらの自由の実現に伴うよさに気付いて、自ら考え判断し、責任のある行動をしようとする実践意欲を育てたいと考える。

### (3) 教材について

(教材名「大空に飛び立つ鳥」)

出典：小学 道徳 豊かな心 光文書院  
本教材は、卒業制作の場面とスキー合宿の場面の2つで構成される。スキー合宿の初日、景子は合宿での生活を個人の自由に任せてみたが、自分勝手に横行してしまい、上手くいかなかった。しかし、その夜のミーティングで景子は不安を感じながらも、「もう一度、みんなに任せてみよう」と決断した。その結果、2泊3日の合宿は楽しいものとなったのである。

そこで、「景子さんはなぜ任せたか」「合宿が楽しいものになったのは、何を大切にしたらか」等を問うことにより、自由を任せられることの喜びや自由の実現に伴うよさなどのねらいの根底にある価値に迫りたい。

### (4) 主体的に考え、伝え合い、響き合うための工夫

事前に「生活の中の不自由」に関するアンケートを行い、その結果をテキストマイニングで表示する。その上で、「ルールもなく、時間がたくさんあるのが自由だとしたら、それって本当によいものなのだろうか」と問う。そうすることで、自由のよさについて疑問を抱くとともに、教材に描かれた出来事を自分事として捉えながら、ねらいの根底にある道徳的価値について考えられるようにする。

自由を実現するために大切にすることを伝え合う過程で、「大切にすることがたくさんあったら不自由じゃないのか」などと問い返すことによって、自由の実現に伴うよさに気付くことができるようにする。また、多様な意見に出会う中で、児童が自分自身とじっくり向き合い、自分の考えを深めることができるよう、振り返りを位置付ける。

### 3 本時の学習

#### (1) ねらい

自由のよさについて考える活動を通して、自由の実現に伴うよさに気付くとともに、多様な視点から自由を捉えて判断し、自律的で責任のある行動をとろうとする実践意欲を育てる。

#### (2) 展開

過程	学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点 ☆評価の視点
導入	1 不自由について考え、めあてをつかむ。	○ルールがなく、時間がたくさんあるのが自由であるとする、それは本当によいものなのだろうか。 ・よいものだと思う。 ・よいものではないのかも…。	○事前に行ったアンケート結果を提示し、「自由は本当によいものなのか」を問うことで、自由がよいものなのか疑問を抱き、自分事として道徳的価値を考えられるようにする。
自由って本当によいものなのだろうか			
展開	2 自由について、話合う。 (1) 1日目と2日目を比較しながら自由について考える。  (2) 全員で話し合いをしたあと、2泊3日の合宿が楽しくなったのはなぜか考える。  (3) 自由のよさについて考える。	○景子さんは不安だったけど、どうして今まで通り続けてみることにしたのだろうか。 ・しんけんな顔でみんなもうなずいていたから。 ・一度決めたことだから。  ○景子さんにもう一度任せられ、そのあとみんなは、自由を実現するためにどんなことを考えたのだろうか。 ・自分の行動に責任をもとう。 ・周りのことを考えよう。 ・自分で考えて行動しよう。	○自由を実現することの難しさを理解し、自由の実現に伴うよさについて考えられるようにする。  ○「大切にすることがたくさんあったら不自由じゃないのか」等問い返すことによって、自由の実現に伴うよさに気付くことができるようにする。  ○自由な立ち歩きによる話し合いの場を設定し、これまでの話し合いや板書を足がかりにしながら、自由のよさについて考えを深めることができるようにする。
	3 自由を実現するために、何を大切にしたいのかについて考える。	○自由を実現するために、これからあなたは何を大切にしたいですか。 ・今やっても良いことなのか良くないのかを考え、自分で判断して、責任のある行動がとれるようにしたい。	○書く時間を確保することで、児童が自分自身とじっくり向き合うことができるようにする。 ☆自由を実現するために、自分が大切にしていきたいことについて考えているか。 (ワークシート)
終末	4 本時のまとめをする。	○みんなの先輩たちは、卒業制作の大空に飛び立つ鳥に、どういう思いを込めたのだろうか。	○自由についてこれからも考えようとする思いと、自律的で責任のある行動をしようとする実践意欲をさらに高められるようにする。